

大豆技術情報(第3号)

令和元年7月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

「確実な培土と排水対策」「早めの雑草対策」「的確な病害虫防除」を徹底し、品質・収量の高い大豆づくりを目指しましょう！！

排水対策

◇培土作業は、土の上がりをするため可能な限りほ場が乾いている時に行い、特に2回目の培土では株元にしっかりと土をかけましょう。

◇培土作業でできた溝と額縁排水溝は必ず連結して排水口につなぎ、ほ場に停滞水を残さないようにしましょう。

雑草防除

◇培土後も残草がみられた場合は、雑草の種類や生育状況、また大豆の生育状況を確認し、適期に除草剤を散布しましょう。

表1 大豆の生育期処理除草剤

対象雑草	薬剤名	10a当たり使用量	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数
1年生 イネ科	ポルトフロアブル	200~300ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	イネ科雑草3~10葉期 ただし収穫30日前まで	1回
1年生 広葉	大豆バサグラン液剤	100~150ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	大豆2葉期~開花前 (雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	1回
1年生 雑草	バスタ液剤※ (非選択性除草剤)	300~500ml	100~150ℓ	畦間・株間 処理	本葉5葉期以降 ただし収穫28日前まで	3回以内

※バスタの散布では吊り下げノズルを用い、大豆に薬剤がかからないよう注意して散布してください。

○難防除雑草（帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類）が増えています。早期発見に努め、見つけ次第速やかに防除（手取り除去、除草剤散布）してください。



マルバルコウ

マメアサガオ

アメリカアサガオ

イヌホオズキ類

ヒユ類

表2 帰化アサガオ類・イヌホオズキ類等に対する除草剤の効果

草種	茎葉処理剤				
	選択性	非選択性			
	大豆 バサグラン液剤	バスタ 液剤	ザクサ 液剤	ラウンドアップ マックスロード	ロロックス
帰化アサガオ類	▲(種間差あり)	○	○	▲	▲(種間差あり)
ヒユ類	▲(種間差あり)	○	○	○	○
イヌホオズキ類等	▲(種間差あり)	○	○	○	○

注1) ○: 効果が高い、▲: 効果が劣る

注2) 登録内容(適用、使用方法等)を確認して使用する。また、非選択性茎葉処理除草剤は、周りの作物にかからないように散布する。

病害虫防除

~適期の病害虫防除により、高品質な大豆に仕上げましょう!~

表3 病害虫防除

防除体系	防除時期の目安		対象病害虫	薬剤名	使用時期	10a当たり散布量
随時	7月下旬~8月上旬 (葉が巻き始めたら)		ウコンノメイガ	サイアノックス粉剤	収穫7日前まで	4kg
				プレバソンフロアブル5	収穫7日前まで	希釈倍数 4,000倍 使用液量 150~300ℓ
基本 (1回目)	莢が伸び きった頃	8月10日頃	紫斑病・カメムシ類	スミチオンベルコート粉剤 DL	収穫21日前まで	3kg
基本 (2回目)	1回目の 10日後	8月20日頃	紫斑病・カメムシ類	Zボルドートレボン粉剤 DL	収穫14日前まで	3kg

防除の際は、農薬使用基準を必ず守り、風向き等に注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。